

平成30年度 国立大学法人徳島大学契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成31年3月8日(金) 徳島大学日亜会館1階会議室	
委員(敬称略)	委員長 矢部 誠一 (徳島大学監事) 委員 立木 さとみ (徳島大学監事) 委員 田中 浩三 (弁護士) 委員 竹内 洋一 (公認会計士) 委員 笹賀 一秀 (四国大学経理課長)(欠席)	
審議対象期間	平成29年11月1日～平成30年10月31日	
審議案件(/期間内対象案件)	15件/107件	(備考)
一般競争契約	10件/67件	・意見、質問に対する回答部署 学術情報部図書情報課 常三島事務部会計課 蔵本事務部会計課 病院事務部経理調達課
指名競争契約	0件/1件	
随意契約	5件/39件	
委員からの意見・質問及びそれらに対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり

議事に先立ち、事務局から本委員会開催の目的及び前回委員からの意見に対する対応等の説明があった。

議題1 委員長の互選について

互選の結果、矢部委員が委員長に選出された。

議題2 競争性のない随意契約における随意契約理由及び落札率の妥当性について(審議5件/対象39件)

- ① データベースSciFinder(Academic)の利用 一式
- ② 在宅酸素療法用吸着型酸素濃縮装置外の賃貸借
- ③ 在宅酸素療法用吸着型酸素濃縮装置外の賃貸借
- ④ 在宅酸素療法用吸着型酸素濃縮装置外の賃貸借
- ⑤ 医師主導治験に係るデータマネジメント統計解析業務請負

<主な意見>

- (1)競争入札をすることは不可能なのか。
- (2)随意契約の抽出したものをしてみると落札率が100%の案件が多いが、随意契約だから100%というのは理由にならないのではないか。
- (3)参考見積がそのまま契約金額になっているケースが多いが、1者しか契約相手がいない状況でも値引き交渉は実施しているのか。

<回答>

- (1)競争入札については常に検討しているが、代替製品がないことや、患者に合った装置を選定していることを考慮すると難しい。
- (2)落札率については、予定価格を算出する際、業者参考見積書だけでなく市場調査を行い値引率を調査している。よって、算出された予定価格は適正な価格と判断している。
- (3)どの案件も値引き交渉を実施しているが成果が上がっていない案件もある。

議題3 一般競争入札で一者応札だったもの及び落札率の妥当性について(審議10件/対象68件)

- ① 歯科技工機 外
- ② 病院情報システム
- ③ 歯学部校舎第I期改修工事に伴う移転作業請負
- ④ 大学院医歯薬学研究部総合研究支援センター動物資源研究部門飼育動物管理補助業務請負
- ⑤ 先端酵素学研究所動物実験施設動物飼育管理等業務請負
- ⑥ 検査試薬
- ⑦ 医薬品
- ⑧ トイレトペーパー
- ⑨ データベース駆動型津波予測システムの構築
- ⑩ 内視鏡下鼻副鼻腔手術トレーニングシミュレータ

<主な意見>

- (1)一者入札になった理由、落札率が100%の案件についてその理由を説明いただきたい。
- (2)落札率が低い案件があるが、予定価格が高すぎるのではないかと。低入札価格調査は実施しているのか。

<回答>

- (1)案件によっては、複数業者に入札説明書等を配布したが、本学の仕様において、技術的に対応できず、結果1者応札となったものがあつた。仕様については、通常複数回の仕様策定委員会で検討し、競争性を確保している。落札率が100%になった案件については、業者参考見積書と市場調査を比較し、安価なものを予定価格に採用しているが、入札金額が同額であつたものである。
- (2)市場調査においては、他大学等の実績及び積算資料等を参考にしており、適正な予定価格であると判断している。なお、本学は予定価格が1千万円以上の請負契約について、低入札価格調査を実施している。

●委員からの要望事項

- ・実質複数年契約となっているもの(特に医薬品・検査試薬)について経年比較したいので、今後は過去3年間分の資料を提出していただきたい。
- ・費用削減のため、単価だけでなく数量も適正なのか判断していただきたい。
- ・一者入札案件が年々増えてきている。複数業者が入札に参加できるよう、仕様についても十分検討し、競争性を確保できるよう周知していただきたい。

●その他

議事概要を大学HPで公開することが承認された。